

愛西市の市民団体が17日、市庁舎の建て替えの是非を問う住民投票条例の制定を求める直接請求を、全有権者の約8%に当たる4154人分の署名とともに提出した。

請求をしたのは「市庁舎統合・増築の是非を問う市民の会」（三枝豊明代表）で、署名活動は市長選の期間を除き、2月26日から5月12日まで行った。直接請求には有権者の50分の1以上の署名が必要で、今後、審査や縦覧を経て市長に本請求する。市長は意見を付けて、市議会に条例案を提案する。

同市は2005年4月、佐織町・佐屋町・立田村・八開村の2町2村が合併し、発足した。市役所本庁舎として旧佐屋町役場を使ってきたが、手狭なことなどから、庁舎の建て替えを計画している。

先月の市長選では、「防災上、庁舎の建て替えは必要だ」などと訴えた日永貴章市長が初当選している。【三鬼治】